

題 言

ここに当所技術陣の昭和 31 年度において行つた学術上の成果が事務上の諸報告と合せて、道立衛生研究所報第 8 集として刊行せられたことは誠に悦びにたえない。本集は既に数カ月前上梓せられるべきところ、種々なる事情によつて延引され今日に至つたことを大いに反省しなければならない。しかし内容については、北海道民の公衆衛生上の実際面について各領域に亘つて関心の多い諸問題の調査並びに研究上の結集が盛りあげられているものと信じている。これによつてわが衛研が将来進むべき途が示されているのではないかと思う。

これ等の調査研究に当り、知事はじめ総務部及び道立諸研究機関のたえざる督励援助並びに道議会の御協賛に対して深甚の謝意を表する。

特に衛生部は、部長はじめ各課長並びに所属の各位が、年度の初めにおいて本所職員と協議の労を惜まず、本所の調査研究事項の選択に参画せられ、そのとるべき方針について誘導され、且つ陰に陽に援助の手をさし伸べられたことは感銘の至りであつて、これによつて本所の踏むべき道が適切なる目的に向つて正しく進むことができることを悦ぶものである。又道各保健所の御支援について深く感謝申上げる。

昭和 30 年 9 月、本所は衛生部保健予防課の所属として、兼ねて功績をあげていた食糧栄養研究所を併合して更に陣容を拡大するに至つた。誠に大きなプラスであるといえよう。

最近における道の人事において、衛生部長の異動を見たことは、本道における保健衛生行政史上の記録において、逸すべからざる事実であり、またわが衛研に取つても深い関係を持つ出来事である。

稻垣是成博士が、衛生部長として胆振支庁長から赴任されたのは、去る 28 年 2 月であるから、約 3 年 8 カ月の間、本道保健衛生陣の総帥として縦横の手腕を揮われた訳である。しかも、この間久しく民生部長をも兼任されて、令名を馳せたことは、今更贅するまでもないが、われわれ衛研関係者の特に感銘に耐えないことは、われわれの夙に唱道し主張して来た衛研の整備強化について、特に心を勞せられ、財政逼迫の際にもかかわらず陣容の強化及び設備の充実に尽され、また食糧栄養研究所の合併を断行して、試験研究機関の統合整備を図り、一面所員を鞭撻して、行政施策実施のために盛んにその設備を利用し、所員をして喜んで機能の發揮に努めしめられたことである。

稻垣博士は、現に道教育長として、その蘊蓄を傾けられているが、従来築かれた保健衛生の向上進歩並びに社会福祉の増進等に寄与された御功績に加うるに、更に教育学芸の振興、文化の進展の上に尽される絶好の場を占められたことは誠に慶祝に耐えない次第である。ここに本誌の刊行に際し、当研究所の中興の祖ともいふべき氏の前途を祝福し、多年の恩誼を感謝して、深く敬意を表す

るものである。

後任としてかねて令名ある医務薬事課長小林治人氏の昇任を見たことは、誠に当然の帰結であつて、部内の齊しく欣快とするところであり、また従来主管課長として特別の御指導と御理解を頂いていた本研究所の幸慶とするところである。ここに深甚の敬意を表するとともに、今後一層の御鞭撻を希つてやまない次第である。

終りに臨み、大方各位の変らざる御指導、御鞭撻を願うと共に、本所員各位のたえざる奮励を期待するものである。

昭和 32 年 3 月 下 浣

北海道立衛生研究所長 中 村 豊